

授業科目名	担当教員名	授業実施日	※
学問の面白さを知る	坂神 先生 森 郁恵先生	7月19日(火)	
学生番号	学部・学科	学年	氏名
03080114-1	法学部	1年	新納 優希

私が第3タームの中で最も印象に残っている講義は、この授業で唯一の女性講師であった森郁恵教授の講義であった。この講義では、普段私達が何気なく感じているもの、例えば暑さや痛みや臭いといったものは、全て脳で受容されて神経を伝って享受されるもののため、という事をテーマとしていた。では一体、何がそういった外界からの刺激を受け取っているのか？教授の話によれば、それは「AED:温度受容ニューロン」という神経が温度上昇に反応して体温調節を促す働きをしているとのことであった。しかし、何より私が衝撃を受けたのは、こういった研究成果を生み出すのは線虫というものを観察することによってであるということである。線虫とは体長約1mm程度の虫で、体の部分が透明である。しこがって観察しやすい。また、この線虫はヒトとヒトとはほぼ同じ遺伝子をもっているため、非常に都合が良い。寄生虫ではないものの、見るからに二等生物である線虫とヒトとが似通った遺伝子をもっていることに驚いてしまった。

しかし、森教授は最後にこう述べていた。「日本ではまだ、名古屋から世界を目指して研究をする。」例え一見何の役にも立たないであろう線虫を使ってでも世界トップの研究成果を目指す、そのストイックで貪欲な姿勢こそが学問を学ぶうえで最も大切なことであろうと感じた。

最後にはたが、この授業を通して沢山の講師の方から様々な分野のお話を聞き、新しい知識を得ることができ、何より学問を学ぶ姿勢を身につけることができた。疑問に思ったことや関心を持ったことは、とことん追求する。この姿勢を保持し、今後の大学生活を送ってほしい。